

記載例

事業計画書

1. 転用行為の必要性 (利用目的・必要性)

非農地としての利用目的、必要性をできる限り詳しく記入

現在、申出地において家族〇人で生活しています。相続をするにあたり登記簿を確認したところ、自宅のある申出地は農地であることが判明しました。建物は平成元年に建てられたものですが、その当時に農振除外申出、農地転用許可申請を行わなかったことが原因だと考えられます。申出地において、30年以上生活しており生活の基盤が確立されていること、農地への復元は困難であることから、この場所を農用地区域から除外する必要があります。

2. 土地の選定理由

非農地として利用した経過を記載

平成元年父の名義により申出地に一般住宅を建築。
その後家族〇人で生活。(住民票のとおり)

3. 土地利用計画 (面積の妥当性)

除外面積の妥当性を具体的に記入

住宅敷地として木造2階建4LDK 延べ床面積〇〇㎡1棟、駐車場〇台分〇〇㎡、その他敷地(車庫、倉庫など)〇〇㎡の合計〇〇〇㎡を利用しています。敷地内に農地はなく、農業委員会からも妥当であると判断されています。

(進入路)

西側国道4号から進入

(取水・排水計画)

取水・・・さくら市上水道より取水

生活排水・・・合併処理浄化槽を設け敷地内浸透処理

雨水排水・・・周囲をL型擁壁で囲み敷地内に砂利敷き、浸透処理

(造成計画)

敷地内1m盛土、周囲をL型擁壁(1.250mm)で囲っている

(周辺農地・土地改良施設への影響・防除策)

西側は国道に、北側は実家敷地に隣接しており影響はありません。建物の高さは2階建て5mであり、東側農地については建物から10m、南側農地は12m離隔を取るため、日照・通風への影響は軽微であります。

また、この30年間で苦情等はありません。

4. 資金計画

必要経費	土地取得費	円、土地造成費	円、
	建築工事費	円、その他経費	円、計_____円
資金内容	自己資金	円、借入資金	円、計_____円

5. 他法令等の状況

必要となる法令等の許可見込み等を確認してください。

非農地証明願い・・・証明の見込みあり

〇〇年〇〇月〇〇日 さくら市農業委員会事務局 担当〇〇氏に確認

農地法第〇条許可申請・・・許可見込みあり

〇〇年〇〇月〇〇日 さくら市農業委員会事務局 担当〇〇氏に確認

道路法第〇条施工承認申請・・・承認済み

〇〇年〇〇月〇〇日 県土木事務所 担当〇〇氏に確認